

令和3年度第2回涌谷町健康と福祉の丘運営委員会会議録要旨

- 1 日 時
 - 2 会 場
- } 書面開催
- 3 対象者 別紙のとおり
 - 4 概 要 宮城県から新型コロナウイルス感染症予防による緊急事態宣言が発令されたことから、運営委員他各課担当者あて資料を送付し、書面にて審議をお願いした。
運営委員9名中8名から回答があった。
審議事項に係る回答は別紙のとおり。

涌谷町健康と福祉の丘運営委員会委員

(任期: 令和2年4月1日～令和4年3月31日)

番号	委員会職名	氏名	選出根拠	部会職名	部会構成	役職等	回答書提出
1	委員長	戸田 慎治	1号委員		病院・老健・訪看事業部会 保健・福祉・介護部会	戸田歯科医院院長	○
2	副委員長	長 純一	1号委員	部会長	病院・老健・訪看事業部会	元石巻市立病院医師	×
3		米谷 則美	1号委員		病院・老健・訪看事業部会	米谷医院院長	○
4		吉田 正義	1号委員	副部会長	病院・老健・訪看事業部会	元大崎市民病院管理者	○
5		小野 秀一	3号委員		病院・老健・訪看事業部会	行政区長会会長	○
6		高橋 俊吾	2号委員	部会長	保健・福祉・介護部会	涌谷町社会福祉協議会会長	○
7		佐々木 富貴代	2号委員		保健・福祉・介護部会	健康推進員協議会会長	○
8		門田 まり	3号委員		保健・福祉・介護部会	食育推進協議会会長	○
9		遠藤 良治	2号委員	副部会長	保健・福祉・介護部会	民生委員・ 児童委員協議会会長	○

- ・1号委員: 保健、医療、介護、福祉等の領域について専門的知識を有する者
- ・2号委員: 保健、医療、介護、福祉等の領域について地域活動等の経験を有する者
- ・3号委員: 一般の町民

涌谷町健康と福祉の丘運営委員会 名簿

NO	所 属		職 名	氏 名
1			町長	遠藤 稔雄
2			副町長	高橋 宏明
3	町民医療福祉センター		センター長	大友 和夫
4	国保病院	看護部	看護部長	佐藤 美由紀
5		事業部	部長兼事務長	吉名 正彦
6		事業部 総務管理課	課長	阿部 雅裕
7		〃	渉外担当専門官	遠藤 彰
8		〃 総務班	課長補佐兼班長	宮 まどか
9		〃 管理班	班長	平塚 睦晴
10		地域医療連携支援部 教育研修センター	医局秘書兼主任	安達 祥子
11		健康課		課長
12	国保介護班		班長	菅原 美紀
13	健康づくり班		技術次長兼班長	紺野 寿子
14	福祉課		課長	木村 智香子
15		福祉班	課長補佐兼班長	渡邊 千春
16		包括支援班	班長	佐々木 敦
17	子育て支援室	子育て支援室	室長	佐藤 明美
18	総務課		参事兼課長	高橋 貢
19		総務班	班長	佐藤 達雄
20	企画財政課		参事兼課長	大崎 俊一
21		企画班	課長補佐兼班長	戸澤 貴志
22		財政班	班長	大川 雄一

令和3年度第2回涌谷町健康と福祉の丘運営委員会回答書まとめ

【報告事項】

- ① 令和2年度各種会計決算報告について

8名承認、1名未回答

- ② 条例の一部を改正する条例について

8名承認、1名未回答

【審議事項】

- ① 令和3年度各種会計9月補正予算（案）について

8名承認、1名未回答

- ② 国民健康保険病院改革プランの点検評価について

8名承認、1名未回答

- ③ 令和3年度各種会計の実績について（7月まで）

8名承認、1名未回答

【その他】

- ご意見など

・町長部局の病院経営介入実態は、厳に慎むべきである。管理者に全権を託し、町長部局には、正当な病院経営支援に尽力する責任がある。

～病院事業経営分析一考察～

流動比率が平成29年度を界に極端に債務超過となっている実態を踏まえ、要因を分析し究明のうえ、健康・福祉・医療・介護包括化に基因する主要因を洗い出し、数値化し、補填財源の欠如であることを公開し、正常経営に戻すべきである。対策が遅延すれば、経営に汗している人材が怒涛のごと流失する恐れあり。

・予約が多いので患者数は安定した数字になって診察もこまらず以前と比べ

時間も早くなったと思います。入院患者はこのところ数字が上がっておらず健診等の理由で少なくなったのであれば、これも仕方ないと思います。治療目的も完了し、入院患者の治療も落ち着いた場合、3ヶ月の枠もあり退院しなければならないのですが家族の事情等ある場合治療目的を変更するなり入院を続けられる様配慮できないのでしょうか。療養棟の方に移したりすることはできないのでしょうか。(特に高齢家庭、老々介護など)町民の為の国保病院があるという事は大変ありがたい事であり、町民一人一人が赤字、赤字とばかり言わないで感謝の気持ちも必要と思う。

・長引くコロナ禍で、推進員協議会の活動が思うように出来ず健康を守る担い手として地域の皆さんの健康問題を心配しています。また、感染を恐れず積極的にワクチン接種を受けること、3密を避けて予防対策を徹底していただくことを願っています。

・住民健診は前年度に比べて受診者が減っており、受診の勧めを健康推進員や広報などを通じて働きかけていくのが良いのではと思います。入院患者数は、一般病棟より療養病棟の方が前年比で高く、需要があると感じます。コロナ禍もあり、今後は訪問介護も増えてくるのではと思います。厳しい状況ではありますが、今後も知恵を出し合い、よりよい病院づくりに取り組めたらとおもいます。
